

# 未来ビジョンに関する報告

オープンミーティング開催報告  
取りまとめ方針イメージの共有

2025/09/30

# 登戸オープンミーティングの開催



第1回 5/8・5/10



第2回 6/20・6/21



第3回 7/24・7/26

登戸・遊園エリアプラットフォームの未来ビジョンを考えるために、登戸オープンミーティングを2025年5月から7月にかけて全3回開催しました。  
(各回平日、土曜日の2回ずつ同内容で実施)

①イベント・公共空間利活用  
②ビジネス・商業活性化  
③地域コミュニティ・活動の支援  
の3つのグループに分かれ、多くの市民や企業が参加してくださいました。

# 登戸の資源や課題 (登戸オープンミーティング #1より)

## ■自然・歴史文化

- ◎多摩川・緑地の身近で **自然が豊か**
- ◎宿場町としての商業や、近郊農業などの **歴史に誇り**
- ◎**個性ある店が集まる** 商業エリア・商店街
  - △まちなかの **緑や休憩場所**は多くない
  - △多摩川氾濫の **災害リスク**は高い

## ■住環境・住民

- ◎東京都心や各方面への **交通アクセスがよい**
- ◎大学生や子育て世代の **若い人が多く**、活気がある
- ◎**DIY精神と実行力のある人** (クリエイター) が多い
  - △新規に引っ越してきた人が多く見込まれるので、 **旧来住民との分断**が懸念される
  - △日常買回り品など、 **不足**している商業機能もある

## ■行事・イベント

- ◎市民主体の **非日常・賑わい創出イベントが豊富**
- ◎市民主体の **日常・地域密着イベントが豊富**
  - △日常的な活動拠点、コミュニティの **拠点の不足**
  - △歴史ある行事や活動の **担い手不足**

## ■その他

- △まちに関わる情報発信が個別的

# どんなアクション（活動）をしたい？（登戸オープンミーティング#2より）

## イベント・公共空間利活用

### 住民ロケット屋台

まちなかの公共空間や空地でカフェやバー、紙芝居、古本市、音楽やアートなど様々な自主活動ができるためのツールをつくる。

### 一畠プロジェクト（ちいさな緑の拠点）

まちなかの一畠分のスペースにひまわりの種を植えて、花や緑を楽しむ。種を収穫してひまわり油やクリームなどの製品を作り大人と子どもが一緒に考える場に。

## ビジネス・商業活性化

### 夜も来たいまち登戸

目的地として選ばれるまちへブランディング。クラフトビールウィークを2号線で開催するや大学生を巻き込んだイベントを。

### 登戸のお店とつながる体験ツアー

登戸の飲食店の魅力をより深く広く知ってもらうガイドツアーを実施。いろいろなプラットフォームで情報発信。

## 地域コミュニティ・活動の支援

### つながりの種

地域の子どもたちが地域とつながりを持てる場所や仕掛けをつくる。お祭りでの神輿の担ぎ手を200人増やすことを目指して、野外上映会や昔遊び体験など、多世代交流を促していく。

### みんなのつながり-個々から地域へ-

新旧住民、多世代、外国人が交流し、助け合える地域づくり。駄菓子屋ポップアップをきっかけにゆるく交流が続く仕組みを。

→これらの活動案は必ず実現させるものではなく、取組方針を決めるための材料にします

## アクションプランからわかったこと

- 空地や道路、公園などの小さな公共空間を使って、**小さな挑戦をたくさん起こしていくことが求められている。**  
→ビッグイベントや日常的な活動の間をつなぐ
- **オープンな活動にしていくための仕組みやルールづくりが必要。**
- 商業・ビジネスでは魅力的な飲食店や小規模（個人）オーナーの新店舗がじゅうぶん立地。それが**発信されていくことや、お店を媒介にして住民同士が交流する機会**をつくりたい。
- 新規住民は増加見込みだが**伝統行事や町内会に参加する人は減少。**外国人や大学生とつながる機会も少ない。公共空間を使って**多世代が無理なくつながる接点**をつくりたい。

# 少し先の登戸を言語化（登戸オープンミーティング#3より）

## ・顔が見えるまち

→いつも個人が挑戦し続けられるまち/安心安全なまち/いつも新しい動きがある

## ・登人/昇都

→人が良くなるとまちが良くなる/背中を押してくれるまち

## ・やっほーって言えるまち

→助け合える関係性がある/子どもが安心・楽しいと大人も楽しい

## ・歓待（Hospitality）

→自分が変わることを前提に受け入れる/ワクワクするまち/寛容/オープンさ/つながり

## ・交差人生

→いってらっしゃい！/人が出会う交わる/登戸で学んでまた帰って来る/空きのないまち

## ・循環

→オープンで入りやすい雰囲気・仕組み/持続性、無理をしないで続ける

# 登戸らしいまちづくりを支える考え方

## ■誰にでも開かれていること

開かれた雰囲気で、楽しく活動すること  
誰でも参加できる活動にすること

## ■自分たちの手で自分たちのまちををつくること

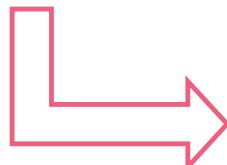
自分たちの手で、自分たちのまちをを変えていける実感を持つこと

## ■自己変容しながら、新しい人を受け入れていく

新しい活動を始めるが勇気を持てるよう背中を押す  
自らも変わりながら、他者を受け入れること  
組織はいずれ壊れ、また新たに生まれるサイクル

## ■まちのことを考え続けること

関わりしろをもって、まちのことを考え続ける  
まちについてオープンに話せる場を持ち続ける  
世代を越えて、まちについて考える人を増やしていく



こういったことを要素として取り入れて、  
未来ビジョンのコンセプト(標語)をまとめます。

## 【参考】社会実験のぼりとみらいひろばでの議論から抽出された提言

### ①まちを使うためのガイドライン作成+ワンストップ窓口の整備

市民が公共空間・空き地を使えるよう、手続・保険・使用料を明確化したガイドと申請の一本化窓口を整備。ハンドブック配布からエリプラの申請代行まで段階展開し、相談先の可視化で障壁を下げ試行から常設へ。

### ②多様なシーンを支える商業・オフィスなどの複合

登戸は都心直結でベッドタウン化。日中の賑わいへ、スマールオフィス・小商いと日常+目的地型店を拡充。空き地出店を起業へ繋ぐシェア・ポップアップ整備と、オーナー×設計者×運営者を結ぶ調整役が鍵。「ちょうどいい」中間都市へ。

### ③空き地の「暮らしの広場」化

排水不良の市管理地「イツモの空き地」を簡易整備し活動拠点化に成功。地盤・排水・人工芝・電気水道の最小投資で他区画へ展開し、誰もが使える暫定“暮らしの広場”に。市民主体の園芸・市・遊びで交流と賑わいを育む。

### ④「寛容さ」を核としたコミュニティ醸成

住民本屋・哲学カフェなど芽生える一方、拠点余白が減少。孤立を防ぎ新旧住民が混ざるには、寛容さを軸に誰でも関われる仕組みが必要。市が空き地・空店舗を媒介するオープン余白制度と、エリプラ主導の運営体制で収益非依存の基盤を整える。

### ⑤地域の歴史や文脈の可視化

新旧住民で暮らし・記憶の共有が乏しい。歴史マップや旧住民ガイドのまち歩きで地域の歴史を可視化し、失われる記憶を街区に重ねる。今は、未来を語る共通語彙と関係の土台を築く好機。

# 未来ビジョンの策定に向けたスケジュール

## 未来ビジョン策定に向けて、編集チームとともに検討

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エリプラ 全体会	未来ビジョン 「編集カイギ」	エリプラ 全体会		調整期間		エリプラ 全体会
オープン ミーティング 成果報告  未来ビジョン 記載内容 イメージ 報告	【コンセプトの策定】 比較的小人数で、集中的に議論 を行う「編集カイギ」を開催  その他の箇所についても、 オープンミーティングでの意見 や、ヒアリングなどこれまでに 頂いた意見を踏まえながら作成	未来ビジョン 素案提出		デザイン調整・ビジュアライズ 内容の詳細精査  ※幅広い意見募集のための 方法については検討中		未来ビジョン 策定

⇐未来ビジョン編集チーム⇒  
のメイン活動期間

# 未来ビジョンの目次と構成

## 未来ビジョンに記載する内容を、目次として整理

### 未来ビジョンの目次（案）

#### ① ビジョンの目的・位置づけ

未来ビジョンとは、エリアプラットフォームについて、  
未来ビジョンができるまで、対象エリア

#### ② 登戸・向ヶ丘エリアの資源・可能性

登戸・向ヶ丘遊園の成り立ち、登戸・向ヶ丘遊園エリア  
の現状、これまでのまちづくりの取り組み

#### ③ 目指す地域の将来像

コンセプト、目指す将来像、取組みの方針

#### ④ 取り組み全体の考え方

取組み全体の考え方  
(大切にしたい姿勢)

#### ⑤ 具体的な取り組みについて

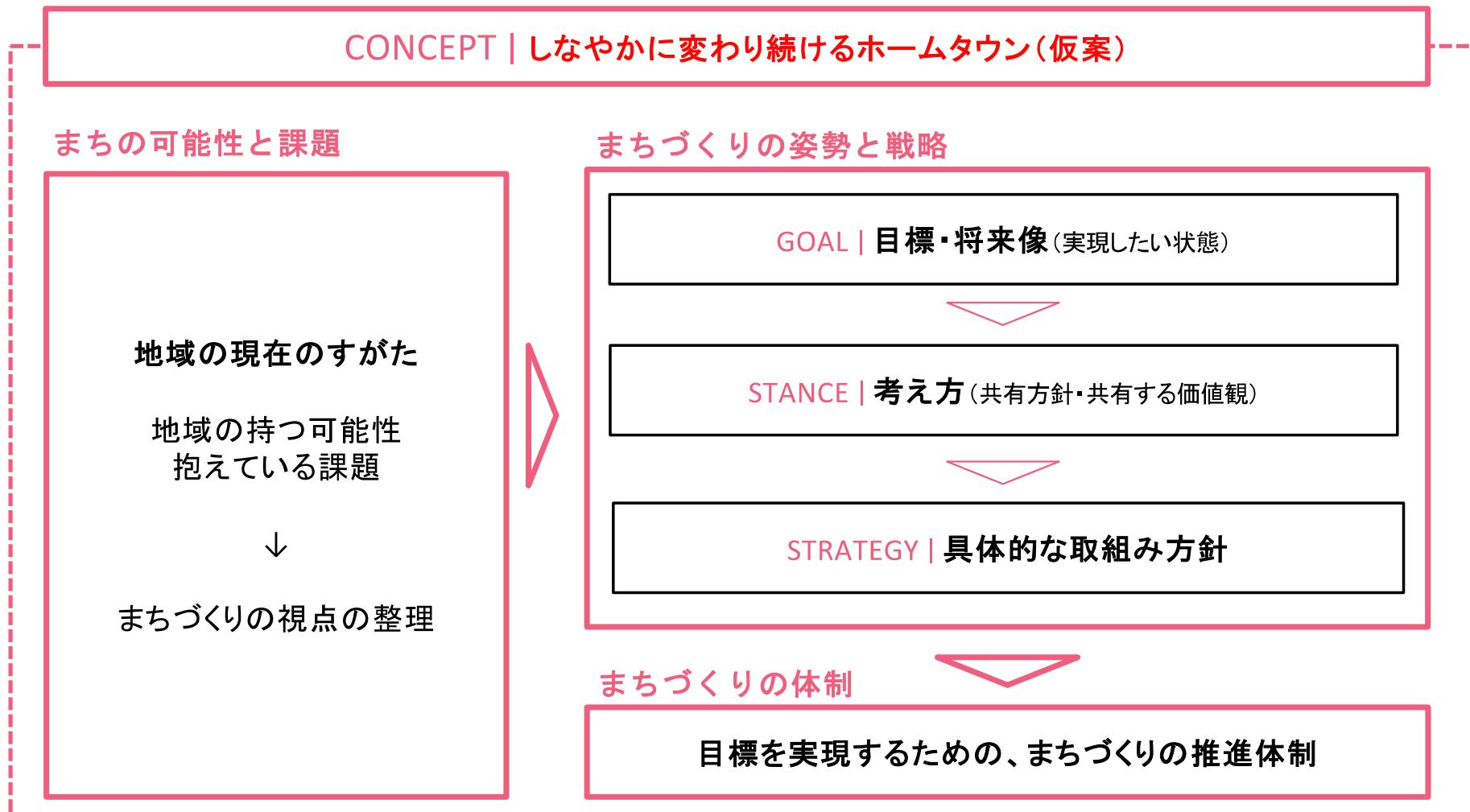
アクションリスト、具体的な活動の概要  
(個別の活動の目標など)

#### ⑥ 持続的なまちづくりの体制

目指すまちづくりの連携の体制  
これからの展開

# 未来ビジョンの目次と構成

## 未来ビジョンの記載内容を構造化



全体で「未来ビジョン」

# 未来ビジョンの目次と構成

## 登戸オープンミーティング（NOM）の反映

※主な対応関係のみ

CONCEPT | NOM参加者による議論（編集カイギ）を今後開催し、ひとつに決定する

### まちの可能性と課題

地域の現在のすがた

地域の持つ可能性  
抱えている課題



まちづくりの視点の整理

NOM①を反映

### まちづくりの姿勢と戦略

GOAL | 目標・将来像 NOM③を反映

STANCE | 考え方 NOM全体の議論を反映

STRATEGY | 具体的な取組み方針 NOM②を反映

まちづくりの体制

目標を実現するための、まちづくりの推進体制

全体で「未来ビジョン」